

KLAU PPK システムの特徴

- ① 2周波 GNSS (L1 および L2) を機体と独立したシステムで運用
- ② DJI 社製カメラおよびその他一眼レフカメラに幅広く対応 (詳細要問い合わせ)
- ③ UAV のシステムとは完全に独立しており相互に影響を与えません
- ④ システム導入時にはレンズキャリブレーション情報も同時提供
- ⑤ 専用の日本語後処理ソフト同封
- ⑥ 後処理ソフトから Rinex ファイル (電子基準点補正情報) を直接インポート可能
- ⑦ WGS84・緯度経度座標から任意の測地系・座標系へ変換可能
- ⑧ 世界測地系 (JGD2011) および日本のジオイドモデル (GSIGEO2011) に対応
- ⑨ XYZ 方向の誤差± 3cm 以内の高精度測量を実現
- ⑩ 地上基準点 (GCP) の設置を大幅に低減可能
- ⑪ 後処理後の高精度位置情報は、お手持ちの SfM ソフトなどへ直接インポート可能
- ⑫ 小型 UAV 以外に有人航空機にも取り付けが可能
- ⑬ 年間サポートパックのご提供 (詳細要問い合わせ)

KLAU
GEOMATICS

お客様のプロジェクトを

より高精度に より正確に より効率的に
なるようアシスト致します。

KLAU Geomatics社は、オーストラリアを拠点として活動している技術者集団です。地理空間の専門家、写真測量士、航空電子工学技術者、そしてシステムエンジニアからなる開発チームは、実際の測量現場で求められる要件だけでなく、画像処理および画像情報のデータ化に必須となる物理学および数学も熟知しています。KLAU Geomatics社は、現実社会の問題に取り組むための革新的なGeoソリューションを皆さまに提供するために、KLAU PPKをはじめとした様々な製品を日々開発しています。



製品の詳細・購入については SkyLink Japan (GeoLink Japan正規代理店)へお問い合わせ下さい。

連絡先: 075-708-2369 (不定休10:00~17:30)

info@skylinkjapan.com

http://www.skylinkjapan.com

住所: 〒603-8053

京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町98-2-2F

株式会社GeoLink Japan (KLAU PPK日本総代理店)

info@geolinkjapan.com

KLAU PPK
後処理方式高精度測位システム



- ✓ i-Construction対応のUAVに取り付け可能
- ✓ GCP設置数の大幅な削減が可能
- ✓ 自動航行ソフトと完全独立したシステム
- ✓ データ取得と後処理をシームレスに提供



KLAU PPK - J Desktop (位置情報の後処理補正ソフト)

最新更新年月日 2018年11月30日



What is KLAU PPK ?

Why choose ?

For what project?

KLAU PPK システムとは

KLAU PPK システムは、DJI 製品をはじめとしたあらゆる汎用 UAV に搭載可能な『KLAU PPK Unit』と、取得したデータを後処理補正するためのソフト『KLAU PPK-J Desktop』によって構成される、より緻密で統合化された地形測量システムです。

KLAU PPK システムの活用で GCP（地上基準点）の設置数を大幅に削減できるようになるため、現場作業の効率化に寄与することができます。更に、アクセスが困難な災害地や、広範囲で高低差のある現場など GCP の設置が不可能な場所においても、高精度な位置座標の取得が可能です。

KLAU PPK システムは、仮想基準点を用いた後処理キネマティック方式 (Post Processing Kinematic) を採用しているので、RTK のような現場での携帯接続環境の確保や基準局の設置は一切不要です。また、数キロに渡る飛行範囲でも正確な位置情報を求めることができます。

- ✦ 写真測量専門のプロフェッショナルによるカスタマーサービスを心がけております。
- ✦ カメラセンサーの位置をユーザー側で任意に補正設定が可能となり、ミリ単位のパラメータ入力が可能です。
- ✦ ホットスワップが可能なコンパクトなバッテリーで長時間稼働します。
- ✦ 従来の高額な測量機器を用いる必要は一切なく、普段使用している汎用機体と組み合わせて高精度な測位が GCP（地上基準点）なしでも可能となります。
- ✦ 電子基準点補正 (V RINEX) データを空中写真の撮影終了後にダウンロードするコンセプトなので、地上にローカル基地局の設置や、現場での通信確保を行う必要がありません。
- ✦ 写真測量、データ管理、共同作業、調査をユーザーのニーズに沿って構成し、撮影から処理、管理までを一貫して効率よく作業できるカスタム環境をクラウド上にご提供することも可能です。

地形調査

広大な調査範囲でも、写真撮影の正確な位置データを取得する事でラップ率を低減できるため、これまでよりも効率よくデータ収集が可能となります。

鉱山や建築現場点検

正確な位置情報と精度が担保されているので、土木工事、建築物の点検、掘削工事等の進捗記録や履歴管理、精緻な地形変位量の計算などに適用できます。

アセット点検

ソーラーパネル、ダムや巨大建築物の屋根などの点検に利用される高画素カメラにも対応しており、非常に効率よく損傷検出や画像の3D化が可能となります。

